

化学療法(抗菌薬)-3

ーグラム陰性の菌抗菌剤ー

https://l-hospitalier.github.io

2020.12

)が開かれ、 た。数か月

1976 年フィラデルフィアのホテルで退役軍人会 (米では Veteran^{*1}) が開かれ、180 名の重症肺炎が発生 29 名死亡、生物兵器によるテロが疑われた。 数か月後 CDC は好気性グラム陰性菌を同定、空調内で繁殖した菌の感染が原因でエリスロマイシン、テトラサイクリン投与例で予後が良くレジオネラ病 (在郷軍

人病)と命名。 Legionella pneumophilla はグラム陰性桿菌でペプチドグリカンの細胞壁を欠きペニシリンやセファロスポリン系 (β ラクタム環) 抗生剤無効。 浴場で水を濾過循環させる配管内壁にバイオレイヤーができ、微生物内で繁殖しエアロゾル感染。 高齢者施設の増加で感染例増加(右図、4 類 *2 全数、即)。 レジオネラに有効な抗菌薬は細胞壁合成阻害剤以外の抗菌薬。 現在の PC 系以外の主要抗菌剤の標的は $\mathbf{1}$ トポイソメラーゼ:DNA 複製阻害 $\mathbf{2}$ RNA ポリメラ

ーゼ: DNA→RNA の転写阻害 ③リボゾーム: mRNA→蛋白の翻訳阻害。 【DNA 複製阻害】 細菌が増殖するには親の DNA からの遺伝情報複製が必須。 哺乳類の DNA は線状だが細菌の DNA は環状。 図で青、赤の線は 2 季餅は 東京 は 2 季季 にいるはなる 関くのば しばん ストラ

線は2重鎖を表す。 読取時2重ラセンの結合を開くのがトポイソメラーゼ。 細菌には I 型と II 型がある(右図中 E coli topo I は大腸菌、euk topo I は真核細胞(eukaryote)のトポイソメラーゼ I)。 (+) SC^{*3} は正の、

(-)SC は負の超ラセン (super coil) 。 I 型は DNA 鎖の片側 1 本を切断、

E.coli topo I
euk topo I

gyrase

euk topo I

reverse
gyrase

(+) SC

euk topo II

E.coli topo II

#268

切れ目の間をもう1本の鎖が通過すると1つ捩じりが戻る。 Ⅱ型は2本を同時に切 断するので細菌の環状 DNA で見られるカテナン (連結環) と呼ばれる 2 つの輪が絡 まったものを離すことができる(図中 euk topo II は真核細胞 II 型、E coli topo IVは 大腸菌IV型トポイソメラーゼ)。 Ⅱ型トポイソメラーゼは ATP を消費、複製された 娘 DNA と親 DNA の絡まりをほぐして分離独立を可能にする。 Ⅱ型は細菌が持つ DNA gyrase (トポイソメラーゼ II) とトポイソメラーゼIVの 2 種類。 キノロン系 抗生剤は細菌のトポイソメラーゼⅡを阻害、アントラサイクリン系とエピポドフィ ロトキシン系はヒトのトポイソメラーゼⅡを阻害し抗ガン剤として使用。 右図の euk topoⅡは真核細胞Ⅱ型、E coli topo Ⅳは大腸菌Ⅳ型トポイソメラーゼ。【転写阻害】蛋 白合成は DNA から mRNA がアミノ酸配列情報を読み取ることから始まる。 細菌では RNA ポリメラーゼは 1 種類(プライマーを読むプライマーゼを除く)。 真核生物では 3種の RNA ポリメラーゼがあり構造も異なる。 リファマイシン系は細菌の RNA ポリ メラーゼのβサブユニットと安定な結合を作り、転写を開始させるが伸長は阻害。細胞 内ミトコンドリアは細菌と類似するが哺乳類のミトコンドリアの RNA ポリメラーゼは かなり高濃度でないと阻害されない。 【翻訳阻害】 mRNA が合成されるとリボゾーム で蛋白に翻訳される。 細菌の 708 リボゾームは 308 と 508 のサブユニットで構成、 **30S** は **16S** リボゾーム RNA (rRNA) と蛋白、**50S** は **2** 分子の **23S** rRNA と蛋白から 構成。 **アミノグリコシド系**は 30S の 16S rRNA に結合し低濃度で誤翻訳を起こし、高 濃度では蛋白合成を阻止*4。 テトラサイクリン系も 30S の 16S rRNA に可逆的に結合 して蛋白合成を阻害するが、細菌に対する高い選択性は原核細胞(細菌)の能動的取り 込みによる濃縮作用によると考えられる。 テトラサイクリン耐性は細菌の濃縮機構や 排泄機構の変化で容易に発生。 マクロライド系は 50S の 23S rRNA に結合し合成され たポリペプチドのリボゾーム出口をふさぐ。 耐性はマクロライドを分解する酵素をプ ラスミドが伝播。 **クロラムフェニコール系**も 23S rRNA に結合、ペプチド結合形成を 阻害。 耐性はプラスミド伝播のアセチルトランスフェラーゼで不活性化。 毒性はヒト のミトコンドリアでのリボゾーム蛋白合成阻害でグレイ症候群や再生不良性貧血で市 場撤退。リンコマイシン系は 23S rRNA 結合だがマクロライド類似で交差耐性もある。

^{*1} 退役軍人援護局(Veterans's Administration)が運営する病院、VA Hospital が全米の都市にある。 Legion の語源はローマの「軍団」で仏の Legion d'Honneur 勲章はナポレオンが制定、米の the Legion of Merit は陸軍勲功章。 ^{*2} 軽症のポンティアック型も報告。 ^{*3}1 次の巻き方と同方向に巻く 2 次の超ラセンが正(+)、逆が負(-)の超ラセン。 ^{*4}アミノグリコシドの聴力障害はミトコンドリアの RNA 阻害による。